

平成 29 年度 新潟市新津育ちの森事業報告

特定非営利活動法人ヒューマン・エイド二十二

理事 椎 谷 照 美

1 交流事業

1. あそびの広場

利用者と職員、および利用者相互の交流の広場と位置づけている。保護者と子どもが楽しく安全に遊べる場になるよう、採光、換気、衛生に配慮し子どもの年齢に考慮した遊具を備え付けている。毎日午前午後、手遊びやふれあい遊びを楽しめる「スポットタイム」を実施。

また、季節や行事を親子で楽しめる内容のイベントを企画した。館内装飾、スポットタイムも親子で楽しめるプログラムを提供し利用者から好評を得た。地域の祭りや、子どもの日、七夕等日本古来の風習に親しむ機会を設けた。身近な場所で、子どもも大人も気軽に参加でき、来館のきっかけ作りになっている。

一人で来館している利用者に声をかけ、孤立させないように配慮している。様々な世代の方との交流をはかれるようロビーにお茶コーナーを設置し、子どもを見ながらもくつろげる雰囲気作りをしている。安全面を考慮し、週 3 回午前 2 回午後 1 回、ベビー専用(1 歳 7 カ月まで)の日を設定している。毎週火曜日の午後は、入園していても 3 歳 11 か月まで利用できる日を設定している。

- (1)開館日時 ・ 日曜祝日、年末年始、土曜午後、館内メンテナンスを除く毎日
 午前の部 9:00～12:00
 午後の部 13:00～16:00
- (2)場 所 ・ プレイルーム
 ・ サークルルーム 1 (部屋の貸出の無い場合 木製レール電車あそび)
 ・ サークルルーム 2 (部屋の貸出の無い場合 ドールハウス、ブロック)
 ・ 図書コーナー
- (3)利用者数 ・ 利用数……延べ 18,210 人
- (4)チケット売上 ・ チケット売り上げ数……14 枚

【表A】 開放区分

	月	火	水	木	金	土
午前	ベビー	フリー	ベビー	フリー	フリー	フリー
午後	フリー	フリー	フリー	ベビー	フリー	休み

※火曜日の午後は、入園している 3 歳 11 カ月のお子さんも利用できる日。

季節のイベント開催

4月 18, 19, 20日	こどもの日祭り 入場者延べ168人	12月12, 13, 14日	森のクリスマス 入場者延べ310人
6月 27, 28, 29日	七夕祭り 入場者延べ221人	1月30, 31日 2月1日	節分スポットタイム 入場者延べ241人
9月14日	交通安全教室 入場者延べ60人	2月27, 28日 3月1日	雛祭りスポットタイム 入場者延べ251人
10月 24, 25, 26日	育ちの森ハロウィン 入場者延べ254人	3月24, 26, 27日	森の卒業式 入場者延べ253人
11月7日	虫歯予防イベント 入場者33人	避難訓練 6月1日 1月24日の2回	

2. サロン

利用者のニーズに沿った内容のサロンを企画・実施した。職員がコーディネーターを務め、気やかな雰囲気の中で、交流や情報交換などを行った。ゲストを招いてのサロンや、季節や発達に応じたサロンも開催。

「パパサロン」

父親の育児参加と子育ての情報共有・交流を目的として、毎月1～2回実施。職員がコーディネーターを務め、遊びながらパパ同士の交流を促し、情報交換を行った。

(木育玩具、折り紙、新聞紙あそび、タッチケア等)

「ベビータイム」

子育て支援センター利用のきっかけになる内容のサロンを実施。ようこそサロン・あかちゃんの部屋を開催し、赤ちゃんとのふれあいやあそび、子育て支援センター利用の情報提供を行った。また、利用者同士で交流を図れるようスタッフがコーディネーターを務めた。

「森のサロン」

子育てに必要な情報・関心の高いもの等の中から、テーマを決めサロンを開催した。

- ・紫外線対策サロン、防災サロン、幸せホルモンオキシトシンについて。サークルに興味のある方向けにサークルサロン、育休明けのサポートや情報交換ができるサロンを実施。

2. 相談事業

利用者からの相談に随時対応し、必要に応じて相談室を使用し個別に相談対応を行った。電話相談・Eメールによる相談も随時対応した。

職員は相談の初期対応を行い、専門的なかかわりが必要な場合は職員間で協議し、必要に応じて速やかに各機関につなげた。

子育ての悩み相談の他、自身のこと、家族、ママ友、持病、経済的なこと等、相談内容が多岐にわたっている。

相談件数 計 **2,176件** (電話・メール・面談)

3. 保育事業

「一時預かり」

事前登録を行い、当日保育カルテを確認、検温後児の体調を確認し保育した。

休養、通院、冠婚葬祭等、求職、仕事復帰準備等の理由が主であるが、相談時に子どもと離れて相談するために利用するケースもあった。

「保育ルーム」

講座に保育ルームを設け、受講者のお子さんの保育を実施。保育ルーム用のカルテに記入後、一時預かりと同じように体調の確認を行い保育した。

一時預かり・保育ルーム共に、時間や年齢等規定に合わない条件の場合は、他の団体や保育園を紹介するなど外部との連携を図り柔軟に対応した。保育ルームには、保育者の他に職員が2名入り保育・総括した。

1. 一時預かり

保育件数……217 件

平均利用時間……3.49 時間

2. 保育ルーム

(1) 保育数……延べ 324 人

(2) 開 設……51 回

4. 講座

育児ストレスや不安の軽減をはかるために、子どもの成長、発育などの知識を得たいという利用者のニーズに応じたセミナーを実施した。セミナー内で交流や意見交換ができるよう職員がコーディネートした。毎回のアンケート結果を次年度のセミナー企画の参考にするなどセミナーの充実を図った。

(1) 育児に必要な知識の提供や子どものかかわりを学習する講座

トイレトレーニング、きょうだいの子育て、子育てハッピーセミナー、救急法、タッチケアセミナー

(2) 交流・情報交換を主にする講座

1歳児・2歳児セミナー、ベビ・ママセミナー・タッチケアセミナー(赤ちゃんとママと一緒に参加)、育休セミナー

(3) 地域の子育て支援講座

サークル研修セミナー

(4) 再就職を支援する講座

再就職支援セミナー・保育園入園申込み説明会

(5) 市民も気軽に参加できる講座

メモリアルブック、メモリーブック、救急法

セミナー実施総数 82 回 参加総数 841 人

(ノーバディズパーフェクトセミナー、子育て中にほしい情報はなにを含む)

5. 情報発信

子育て中の保護者の声や様子から情報提供が重要と考え、ホームページ、支援センター便りで情報を提供した。地域のコミュニティFM局の番組を活用し、子育てに関する情報をスタッフが企画し、パーソナリティを務め市民に情報提供した。

また、子育て情報を掲載した季刊情報誌を発行し無料配布した。

- ・情報誌「Cocokara（ここから）」年4回（4・7・10・1月）編集発行。（B5版、28ページ4000部）新潟市内保育園・公民館・公共施設・公共機関等を中心に配布
- ・HPを随時アップデート。……年間アクセス数 65,058 件
- ・図書コーナーの育児・情報書籍の貸し出し。年間 233 冊
- ・ラジオチャットFMにいつ「子育て応援します CHATランド」で子育ての情報を発信。

6. 子育てサークル支援

当館の利用が困難、地域で仲間づくりがしたい等の理由で、子育てサークルが果たす役割は重要であると考え、子育てサークルの運営支援を実施。

1. 子育てサークル支援研修・サークル限定日

- ・サークルリーダーを対象とした研修会を開催。（年3回）参加人数 14 人
（社会福祉協議会年2回、保健師1回参加）
- ・各サークルの交流を目的にサークル限定日を年2回実施。
参加サークル……10 サークル

2. サークル出張・相談

- ・希望のあったサークルにスタッフが出向き、手遊びやふれあい遊びなどを提供。
- ・サークルの活動を積極的にサポートするため、運営や人間関係、活動内容などの相談対応を行った。
※子育てサークルからの要望により、講師や保育サポーターの情報提供を行った。
実施サークル……5 サークル

7. 地域との連携

1. 遊びの広場サポーター・保育サポーター研修を実施

遊びの広場、保育に関わるサポーターに対して研修等を実施。サポーター同士の交流、スキルの向上を図るため実施。

保育サポーター研修・・・4回 登録サポーター 14人

2. ボランティア育成・支援

地域の人材を子育て支援の現場に活動できる場を設けた。

- ・手作りおもちゃやエプロンシアターの製作。月3～4回 登録ボランティア 5人
- ・季刊誌「Cocokara（ここから）」の4コマまんが。登録ボランティア 1人
- ・花壇ボランティア 登録ボランティア 2人

8. 次世代育成

1. 中学生の総合学習受け入れ
 - ・新潟市立金津中学校総合学習、1年生～3年生 **16人**受け入れ
※子どもとのふれあい遊び。
2. 中学生職場体験受け入れ
 - ・新潟市立新津第一中学校2年生 **2人**受け入れ
3. 大学、専門学校実習及び研修（育ちの森見学後、子育て支援に関する講義及び実習）
 - ・新潟医療福祉大学看護学科3年 **3人**
 - ・新潟看護医療専門学校看護学科3年実習 **38人**
 - ・新潟大学医学部保健学科看護学専攻臨床実習3年生 **80人**

事業実施のための体制

- | | | |
|--------------|------------------------------|------------|
| (1) 開館時間 | 月～金曜日 | 9:00～16:00 |
| | 土曜日 | 9:00～12:00 |
| (2) 職員 | 館長 | 1名 |
| | 副館長 | 1名 |
| | 受付事務 | 1名 |
| | 広報担当 | 1名 |
| | 保育士 | 1名 |
| | 看護師 | 1名 |
| | 臨時保育士 | 2名 |
| | パート職員 | 1名 |
| | パート用務員 | 1名 |
| (3) サポートスタッフ | 一時預かり・保育ルームなど、必要に応じてサポーターを配置 | |

自主事業報告書

事業名 学年別限定日

(1) 実施状況（実施日時・利用人数等）

同じ学年の子ども同士、年齢に応じたあそびの提供を行った。プレイルーム、サークルルームの玩具の選定・配置を工夫し、同じ学年ならではのあそびを楽しめるようにした。親同士も同じ学年の子どもを持つ親同士で情報交換を行う。

平成 26 年度生まれ限定日（平成 26 年 4 月 2 日～平成 26 年 4 月 1 日生まれ対象）

平成 27 年度生まれ限定日（平成 27 年 4 月 2 日～平成 28 年 4 月 1 日生まれ対象）

限定日利用参加人数

平成 26 年度生まれ			平成 27 年度生まれ		
開催月日	時間	利用人数	開催月日	時間	利用人数
4 月 14 日	9 時～12 時	48	5 月 12 日	9 時～12 時	56
6 月 9 日	9 時～12 時	59	8 月 4 日	9 時～12 時	35
9 月 4 日	9 時～12 時	59	10 月 6 日	9 時～12 時	53
12 月 1 日	9 時～12 時	44	1 月 12 日	9 時～12 時	16
2 月 9 日	9 時～12 時	43	計		160
3 月 9 日	9 時～12 時	52			
計		305			

実施回数 10 回 総参加者数 465 人（親子）

・あそびの提供の時間（スポットタイム）は、年齢に応じた内容の歌や体操等を提供した。

(2) 目的の達成状況

同じ学年の子どもが遊べる環境を整えたことで、成長に応じたあそびを楽しんでいた。新聞紙で遊べる部屋、ボールで遊べる部屋。お店屋さんごっこ、ままごとコーナー等も同じ学年ならではの遊びが楽しめていた。限定日ということで、ダイナミックに遊ぶ姿もみられた。人数も多すぎずに、充分楽しめるスペースがあった。

(3) 利用者の反応・満足度と今後の対応

同じ学年が集まったので、同じようなあそびが楽しめ、「イヤイヤも自分の子どもだけではないことを知り、気が楽になった」「普段できない新聞紙遊びや、ボールあそびは、子どもが発散できた」「いつもと違った雰囲気、親子で楽しめた」「気分転換になった」という意見があった。

(4) 収支決算 この事業に係る経費は発生しない

※学年限定日の他、サークル限定日を年 2 回実施。

自主事業報告書

事業名

にいつ夏祭り 三之町屋台によるお囃子「松坂流し」

(1) 実施状況（実施日時・利用人数等）

実施日時 平成 29 年 8 月 19 日 午前 11 時～11 時 20 分

実施回数 1 回

参加者数 43 人

事業内容

- ・新津夏祭りのお囃子新津松坂を楽しむ。
- ・屋台のお囃子をライブで聴き、祭りの雰囲気味わう。

(2) 目的の達成状況

地域祭りのお囃子を、育ちの森で披露してくれたことで、子どもも、赤ちゃんも祭りに足を運ぶことができない方にも、新津の伝統行事を体験していただくことができた。

笛や太鼓の音を聴き子どもたちも喜んで体を揺らしていた。普段味わうことの出来ない祭りの雰囲気を楽しんでいる様子が伝わったことから、目標は達成できたと感じている。

(3) 利用者の反応・満足度と今後の対応

「祭囃子をめがけて今日来ました」「お囃子が好きで気分転換したいから」等の声もあり、地域の協力を得られて実施できる事業を今後も継続して実施していきたい。伝統的な祭りの雰囲気を十分に味わうことができた。

次年度も地域の協力を得て、地域の行事やイベントを楽しめるよう計画していきたい。

(4) 収支決算 この事業に係る経費は発生しない

自主事業報告書

事業名

B P フォロー（秋葉区の子育て支援の情報提供及び交流）

(1) 実施状況（実施日時・利用人数等）

実施日時 ①平成 29 年 7 月 7 日、②10 月 5 日、③12 月 27 日 ④3 月 29 日

実施時間 午後 2 時～3 時 50 分

実施回数 4 回

参加人数 1 回目 15 組 30 人 2 回目 10 組 20 人 3 回目 3 組 6 人 4 回目 10 組 20 人
合計 38 組 76 人

事業内容 B P プログラムのフォロー

- ・ B P プログラムに参加した親子が、交流、子育て支援センター体験及び秋葉区内の子育て支援の情報を得ることを目的として参加。
- ・ 子育て支援センター育ちの森の館内案内（事業の説明）
- ・ 秋葉区内の子育て支援センターの紹介
- ・ 秋葉区の子育て支援に関する情報提供
- ・ B P 参加者同士での交流

目的の達成状況

- ・ B P セミナーに参加した親子が、プログラム終了後に地域の子育て支援センターに来館することで、子育てに必要な情報を得られたようだ。
- ・ 秋葉区内にある支援センターの情報や、それぞれの施設の支援内容を知るきっかけにもなった。
- ・ フォロー終了後、遊びの広場に誘い合って来館し、継続して利用している。
- ・ フリーの時間を多くとったことで、参加者同士が交流できていたようだ。

(2) 参加者の反応・満足度と今後の対応

- ・ 「子育て支援センターに来てみたかったが、一人で来る勇気がなかったから、皆で来られて良かった」「一時預かりの情報や、赤ちゃんの部屋の情報が聞けて良かった」「どんなところか分からなかったから、利用出来て良かった」等の意見もあり、子育て支援の施設を知るきっかけになり、楽しかったという声が多く聞かれた。
- ・ 「ふれあい遊びをして欲しい」という要望があり、歌をうたいながら参加者でふれあい遊びを行った。「家に帰ってからもふれあい遊びをやってみようと思う」という意見が聞かれた。

(4) 収支決算 この事業に係る経費は発生しない